



# 防災まちづくりイベントを行いました！

平成23年8月28日（日）、川岸児童遊園地において、防災まちづくりイベントを開催しました。

水消火器操作訓練をはじめ、救命訓練（AED）、バケツリレー等の防災訓練を体験して頂きました。

推進協議会では、今後もみなさまのご意見を頂きながら、子どもたちや、大人の方にも楽しく防災やまちのことを知って頂ける企画を検討していきます。



訓練① 水消火器



訓練② AED



訓練③ バケツリレー



金魚つかみ

戸田市からのお知らせ

## 住市総事業に取り組んでいます！

平素より、戸田市のまちづくりにご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。戸田市では、災害に強いまちづくりに向けて、川岸2丁目の一部地区において、住宅市街地総合整備事業（略称：住市総事業）に取り組んでいます。

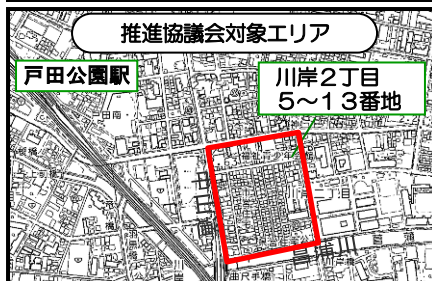
平成23年度は、11月～2月にかけて、周辺にお住まいの方にご参加頂き、「B路線懇談会（戸田市主催）」を3回開催し、通り抜け道路の整備に関する意見交換を行いました。

また、平成24年2月3～4日にかけて、「住まい・建替え相談会」を開催し、住まいや建替えの相談について、個別のご相談に応じる取り組みを行いました。



住まい・建替え相談会

川岸地区まちづくり推進協議会では、随時メンバーを募集しています！



～お問合せは、下記にお願い致します～

- ◆川岸地区まちづくり推進協議会
  - 048-441-5000 会長：長坂 信人
  - 048-442-3035 総務会長：瀬谷 行雄
- ◆戸田市役所都市整備課（担当：坂野・江口・宇田）
  - 048-441-1800 内線 321

安全でうるおいとふれあいのある住みよいまちづくり

35

# まちづくりニュース かわぎし

2012年3月  
発行：川岸地区まちづくり推進協議会

## 川岸児童遊園地の改善に向けたワークショップを開催！

平成23年度、川岸地区まちづくり推進協議会では、川岸児童遊園地改善計画（案）づくりワークショップを4回開催し、川岸児童遊園地を災害に強い公園にするための改善計画（案）の検討を行ってきました。本号では、ワークショップでの検討成果と今後の改善に向けた進め方についてご紹介します。

### 第1回ワークショップ「公園について自由に語ろう！」（平成23年9月24日）



第1回ワークショップでは、日頃の川岸児童遊園地に対する思いを自由に語っていただきました。意見交換を通じて、公園の現状の問題点と改善課題を整理しました。

### 第2回ワークショップ「公園づくり事例視察」（平成23年10月9日）



改善計画づくりの参考とするため、堀切二丁目防災公園（葛飾区）を視察しました。広場空間の確保や、防災施設の充実と併せて、地元による自主管理活動の重要性を確認しました。

### 第3回ワークショップ「公園の個性をデザインしよう！」（平成23年12月15日）



第1回の結果を踏まえて、公園を6つのゾーンに分けて、各ゾーンの改善ポイントを整理しました。話し合いの結果、プールを残す計画（案）とプールを撤去する計画（案）の2案が作成されました。

### 第4回ワークショップ「改善計画(ワークショップ案)のまとめ」（平成24年2月9日）



プールの存続について、主な利用者である子育て世代の方々の意向を含めて、改めて話し合いを行った結果、プールを川岸の大事な資産として残すことを前提とした改善計画（ワークショップ案）が作成されました。

# 川岸児童遊園地の改善イメージ(ワークショップ案)

※ ワークショップの成果をまとめたものです。これを踏まえ、戸田市が実現性について技術的な検討を進めます。  
 ※ 掲載している写真は、川岸児童遊園地の現状写真以外はイメージ写真です。

## ①憩いのゾーン

道路に一番近くプールもあり、日常時も災害時も人や物が交流する場所

- プールの使い勝手の改善や防災利用の検討(特に技術的検討を要する)



- 制札版・案内板



- マンホールトイレの設置
- 路面はブロック舗装
- 樹木の整理(見通し確保)

## ②広場ゾーン

訓練、イベント、遊び、避難などで人が集まる場所

- 使い勝手の良い広い空間の確保



- かまどベンチ



- 広場ゾーンの樹木の整理
- 防災倉庫・備品の拡充
- ソーラー照明の設置 など

## ③緑のゾーン

防災・防犯・プライバシー(目隠し)など、緑の役割が発揮される場所

- ミニ花壇・ミニ菜園等(自主管理が前提となる整備)



## ④メインゲート

公園の顔となる玄関口  
 ■車いすでも入れる出入口



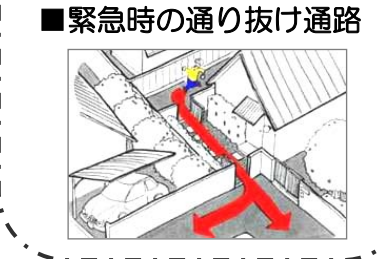
## ⑤前庭ゲート

市営住宅の敷地と連続し、空間的なゆとりを感じるゲート  
 ■地被類や低木による境界部



## ⑥防災ゲート

二方向の避難経路を確保するゲート  
 ■緊急時の通り抜け通路



## 改善計画(案)の基本的考え方

### ①川岸児童遊園地に必要な防災機能を備えた公園とする

- 【大切な視線】
- ・逃げ込める場所の確保
  - ・震災後の一時的な被災生活を支援する防災施設の確保

### ②多世代のコミュニティ形成のきっかけとなる公園とする

- 【大切な視線】
- ・ちびっこプールの効果的な改善
  - ・川岸児童遊園地ならではの個性づくり
  - ・皆が参加したくなるイベントや訓練の企画開催
  - ・公園改善を良いきっかけと捉え、地区住民や既存団体による自主管理活動や活発な利活用を通じたコミュニティ形成

### ③緑が活きる公園とする

- 【大切な視線】
- ・公園や住環境向上につながる緑の配置等の工夫

### ④周辺環境と調和する公園とする

- 【大切な視線】
- ・周辺からアクセスしやすい出入口の確保
  - ・見通しや開放感のある雰囲気づくり

**なぜ、川岸児童遊園地を災害に強い公園にする必要があるの？**

公園は、密集するまちにとって**貴重な開けた空間**です。  
 例えば、震災時は、一時的に避難や手当てをする場になったり、被災生活時は、配給や情報収集をする場になったりします。また、もし火災が燃え広がってしまったときは、公園の空間や緑で火災が止まることも期待できます。  
 このように、川岸児童遊園地を災害に強い公園とすることで、地域全体の安全性が向上することが期待できるのです。

**今後はどのように改善計画を検討していくの？**

改善計画(ワークショップ案)を踏まえ、戸田市が実現性について技術的検討を行うとともに、川岸地区まちづくり推進協議会では、地区住民の交流や活動の場が広がる公園とするために、公園の愛称や看板のデザイン、**整備後の自主運営・自主管理**に関して、継続的に検討を行います。  
 その成果を盛り込んだ内容を「**川岸児童遊園地改善計画(協議会案)**」として取りまとめ、平成24年度中を目標に**市長提案**を行います。